



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月12日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL https://www.shiphd.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	484,395	9.1	18,794	4.7	19,931	7.6	11,803	5.0
2019年3月期	444,048	4.3	17,952	△1.7	18,532	△2.1	11,236	8.6

(注) 包括利益 2020年3月期 10,638百万円(△8.8%) 2019年3月期 11,666百万円(3.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	248.03	225.24	12.0	6.6	3.9
2019年3月期	227.75	221.11	11.5	6.3	4.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 38百万円 2019年3月期 67百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	308,873	104,681	33.0	2,146.71
2019年3月期	299,212	97,734	31.9	2,003.36

(参考) 自己資本 2020年3月期 101,784百万円 2019年3月期 95,420百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	24,010	△4,264	△8,416	82,810
2019年3月期	10,534	△7,678	9,828	71,494

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	3,334	30.7	3.5
2020年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00	3,556	30.2	3.6
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	77.00	77.00		30.2	

## 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	240,000	△0.9	6,900	△31.6	6,900	△37.3	4,000	△40.2	84.36
通 期	500,000	3.2	21,000	11.7	21,000	5.4	12,100	2.5	255.20

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	50,834,700株	2019年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,420,627株	2019年3月期	3,204,535株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	47,587,591株	2019年3月期	49,335,752株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,191	2.1	5,764	△2.0	5,785	△1.2	5,642	△1.8
2019年3月期	7,046	8.3	5,884	9.6	5,856	10.1	5,745	10.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	118.56		107.49					
2019年3月期	116.46		113.01					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	80,388		45,638		56.8	962.56		
2019年3月期	81,156		45,232		55.7	949.65		

(参考) 自己資本 2020年3月期 45,638百万円 2019年3月期 45,232百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】5ページ「今後の見通し」をご覧ください。

・当社は持株会社であり、当社個別の収入は子会社からの受取配当及び運営費用収入等がほとんどであることから、投資情報並びに経営指標としての重要性が低いと考えられるため、個別業績予想の記載を省略しております。

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、当社関係者及び参加者の皆様の健康と安全確保を第一に考慮した結果、2020年5月に予定しておりました、2020年3月期決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）を中止することいたしました。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(表示方法の変更) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	20
(重要な後発事象) .....	21

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、上半期では堅調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、下半期においては消費税増税による個人消費の停滞や米中の貿易摩擦問題の長期化等があり、2019年11月からは、中国武漢において最初の症例が確認された新型コロナウイルスの世界的規模の急激な感染拡大により、様々な社会・経済的影響が引き起こされ、世界経済が一気に冷え込むに至っています。

当社グループの属する医療業界におきましては、本年4月の診療報酬改定において、医療従事者の負担軽減、医師等の働き方改革の推進が重点化され、医療機能の分化・強化、連携と地域包括ケアシステムの推進が基本的視点とされる等、医療機関・業界各社において中長期的に幅広い連携や効率的な業務体制の構築が求められております。一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、昨今では我が国においても医療崩壊の危機に直面し、集中治療用病床、人工呼吸器や医療用マスク・ガウン等の感染症対策用の医療設備・機器・診療材料が大幅に不足する等、深刻な状況に直面するに至っております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、メーカー系及び新規投資案件において一部業績が低調に推移いたしました。プロジェクト案件については当初予定通り計上されました。メディカルサプライ事業におきましても新規案件の獲得に努めたこと等により、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は484,395百万円（前連結会計年度比9.1%増）、営業利益は18,794百万円（前連結会計年度比4.7%増）、経常利益は19,931百万円（前連結会計年度比7.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は11,803百万円（前連結会計年度比5.0%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

#### ① トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、例年になく大型プロジェクト案件が上半期に売上計上されるとともに、特にメーカー系において消費税増税の駆け込み需要及び反動減による影響を受けました。また重粒子線がん治療施設において、前立腺がんを初めとする一部のがん治療において医療保険適用がなされ、治療機会が増加傾向を示す一方で、当初想定を大幅に下回る治療単価の治療割合が増加することとなりました。

以上の結果、売上高は100,688百万円（前連結会計年度比1.3%増）、セグメント利益（営業利益）は9,620百万円（前連結会計年度比1.8%減）となりました。

#### ② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、専門材料系を中心とした新規案件の獲得やS P D施設の運営効率化に努めた結果、業績は堅調に進捗いたしました。

以上の結果、売上高は325,664百万円（前連結会計年度比12.2%増）、セグメント利益（営業利益）は5,035百万円（前連結会計年度比20.1%増）となりました。

#### ③ ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、高い稼働率を維持した結果、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は23,929百万円（前連結会計年度比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は1,770百万円（前連結会計年度比8.9%増）となりました。

#### ④ 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模のM&Aや継続的に経営効率化のための改善策を実施したこと等により、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は27,050百万円（前連結会計年度比5.7%増）、セグメント利益（営業利益）は2,661百万円（前連結会計年度比21.4%増）となりました。

#### ⑤ その他

その他におきましては、動物病院の運営およびセキュリティサポート会社の業績は概ね計画通り推移するとともに、新たに参画した建物総合管理会社の業績が寄与いたしました。

以上の結果、売上高は7,062百万円（前連結会計年度比36.9%増）、セグメント利益（営業利益）は449百万円（前連結会計年度比6.8%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 流動資産

当連結会計年度末における流動資産の残高は、210,499百万円（前連結会計年度末残高は201,571百万円）となり、前連結会計年度末に比べ8,927百万円増加いたしました。

その主な要因は、受取手形及び売掛金が2,351百万円減少した一方、現金及び預金が6,324百万円、有価証券が5,040百万円増加したこと等によるものであります。

## ② 固定資産

当連結会計年度末における固定資産の残高は、98,373百万円（前連結会計年度末残高は97,640百万円）となり、前連結会計年度末に比べ733百万円増加いたしました。

その主な要因は、賃貸不動産（純額）が1,995百万円、長期貸付金が1,721百万円減少した一方、建設仮勘定が2,437百万円、土地が1,648百万円増加したこと等によるものであります。

## ③ 流動負債

当連結会計年度末における流動負債の残高は、133,115百万円（前連結会計年度末残高は128,176百万円）となり、前連結会計年度末に比べ4,938百万円増加いたしました。

その主な要因は、電子記録債務が1,173百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が4,750百万円、未払法人税等が260百万円増加したこと等によるものであります。

## ④ 固定負債

当連結会計年度末における固定負債の残高は、71,076百万円（前連結会計年度末残高は73,300百万円）となり、前連結会計年度末に比べ2,224百万円減少いたしました。

その主な要因は、長期借入金が2,712百万円減少したこと等によるものであります。

## ⑤ 純資産

当連結会計年度末における純資産は、104,681百万円（前連結会計年度末残高は97,734百万円）となり、前連結会計年度末に比べ6,946百万円増加いたしました。

その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が3,334百万円、その他有価証券評価差額金が1,059百万円減少し、自己株式を1,000百万円取得した一方、親会社株主に帰属する当期純利益により利益剰余金が11,803百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末残高の71,494百万円から11,316百万円増加し、82,810百万円となっております。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは24,010百万円の収入（前連結会計年度比13,476百万円収入増）となりました。これは主に、法人税等を7,705百万円支払った一方、税金等調整前当期純利益を19,870百万円、減価償却費を3,135百万円計上し、仕入債務が3,092百万円増加、売上債権が2,768百万円減少したこと等によるものであります。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは4,264百万円の支出（前連結会計年度比3,413百万円支出減）となりました。これは主に、長期貸付金の回収による収入が1,763百万円あった一方、有形固定資産の取得による支出が3,544百万円、投資有価証券の取得による支出が1,375百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が1,003百万円あったこと等によるものであります。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは8,416百万円の支出（前連結会計年度比18,245百万円支出増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が1,871百万円あった一方、長期借入金の返済による支出が5,871百万円、配当金の支払額が3,334百万円、自己株式の取得による支出が1,000百万円あったこと等によるものであります。

#### (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	37.1	34.7	35.0	31.9	33.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	64.1	56.9	66.5	72.3	67.9
債務償還年数 (年)	2.3	3.1	2.3	6.9	2.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	57.3	53.3	80.6	40.9	89.4

※ 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利息の支払額

(注) 1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利息の支払額については連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

団塊の世代の高齢化及び少子化が急速に進んでいることから、将来にわたり国の医療費・介護費の抑制・単価の引き下げが継続されることが予測されます。また、医療介護総合確保推進法の施行を受け、2025年に向けた医療提供体制の改革が進み、地域包括ケアシステムの構築が進められております。

このような状況の下、当社グループは、SHIP理念及び“生命を守る人の環境づくり”というグループミッションの下、「医療」「保健」「福祉」「介護」「サービス」の分野において、最適なソリューションを一括で提供できるという高い能力を通じて、幅広いニーズに応えることで社会的責任を果たしてまいりたいと考えております。

当社グループは、2021年3月期を最終年度とする2018～2020年度の中期経営計画「SHIP VISION 2020」を策定しております。

最終年度である2021年3月期は、新規事業である重粒子線施設及びバングラデシュの病院事業立ち上げが本格化したしておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響から多少の遅れが見込まれております。一方、当社グループの事業計画は、売上高5,000億円、営業利益210億円と、いずれも過去最高を達成する計画です。

次期(2021年3月期)の業績見通しにつきましては、下記のとおり見込んでおります。

<連結の業績見通し>

(単位：百万円、%)

	2021年3月期 (予想)			2020年3月期 (実績)	
		利益率	前年比		利益率
売上高	500,000	—	3.2	484,395	—
営業利益	21,000	4.2	11.7	18,794	3.9
経常利益	21,000	4.2	5.4	19,931	4.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,100	2.4	2.5	11,803	2.4

2021年3月期の1株当たりの配当予定額(期末)は、77円であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS(国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,393	78,717
受取手形及び売掛金	97,975	95,623
電子記録債権	3,232	3,611
リース投資資産	3,801	3,500
有価証券	61	5,101
商品及び製品	14,034	14,029
仕掛品	1,471	1,511
原材料及び貯蔵品	648	845
短期貸付金	1,770	1,790
その他	6,278	5,839
貸倒引当金	△95	△71
流動資産合計	201,571	210,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	31,735	32,569
減価償却累計額	△12,828	△14,035
建物及び構築物(純額)	18,907	18,534
機械装置及び運搬具	5,890	6,515
減価償却累計額	△1,252	△2,108
機械装置及び運搬具(純額)	4,637	4,406
土地	14,451	16,100
貸与資産	681	649
減価償却累計額	△566	△570
貸与資産(純額)	114	78
賃貸不動産	16,594	14,703
減価償却累計額	△3,385	△3,489
賃貸不動産(純額)	13,209	11,213
建設仮勘定	1,235	3,673
その他	9,259	10,862
減価償却累計額	△7,163	△7,854
その他(純額)	2,095	3,008
有形固定資産合計	54,652	57,014
無形固定資産		
のれん	9,304	8,548
その他	1,029	972
無形固定資産合計	10,333	9,520
投資その他の資産		
投資有価証券	14,683	14,535
長期貸付金	9,531	7,810
退職給付に係る資産	1,060	1,131
繰延税金資産	3,188	3,435
破産更生債権等	452	68
差入保証金	5,512	5,571
その他	848	1,002
貸倒引当金	△2,624	△1,716
投資その他の資産合計	32,654	31,838
固定資産合計	97,640	98,373
資産合計	299,212	308,873



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	85,371	90,121
電子記録債務	20,772	19,598
短期借入金	1,030	935
1年内返済予定の長期借入金	4,968	4,555
未払法人税等	4,139	4,400
賞与引当金	2,032	2,194
その他	9,861	11,308
流動負債合計	128,176	133,115
固定負債		
新株予約権付社債	25,116	25,091
長期借入金	39,700	36,987
退職給付に係る負債	2,811	2,873
繰延税金負債	1,070	919
資産除去債務	628	838
その他	3,973	4,365
固定負債合計	73,300	71,076
負債合計	201,477	204,191
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,921	23,895
利益剰余金	66,372	74,841
自己株式	△13,447	△14,447
株主資本合計	92,399	99,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,079	2,019
為替換算調整勘定	△84	△152
退職給付に係る調整累計額	26	75
その他の包括利益累計額合計	3,021	1,942
非支配株主持分	2,314	2,897
純資産合計	97,734	104,681
負債純資産合計	299,212	308,873

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	444,048	484,395
売上原価	397,396	434,768
売上総利益	46,652	49,627
販売費及び一般管理費		
役員報酬	1,435	1,418
給料及び手当	9,327	10,231
賞与	1,338	1,355
退職給付費用	453	448
賞与引当金繰入額	884	963
その他	15,260	16,415
販売費及び一般管理費合計	28,699	30,832
営業利益	17,952	18,794
営業外収益		
受取利息	306	391
受取配当金	206	288
負ののれん償却額	232	116
持分法による投資利益	67	38
貸倒引当金戻入額	—	380
為替差益	9	—
その他	289	287
営業外収益合計	1,112	1,502
営業外費用		
支払利息	258	268
社債発行費	37	—
為替差損	—	27
貸倒引当金繰入額	139	—
売上債権売却損	18	—
その他	79	69
営業外費用合計	532	365
経常利益	18,532	19,931

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	61	193
その他	—	0
特別利益合計	61	194
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	19	14
投資有価証券評価損	34	78
減損損失	44	152
その他	3	6
特別損失合計	102	255
税金等調整前当期純利益	18,490	19,870
法人税、住民税及び事業税	7,015	7,962
法人税等調整額	392	79
法人税等合計	7,407	8,041
当期純利益	11,083	11,828
非支配株主に帰属する当期純利益	△152	25
親会社株主に帰属する当期純利益	11,236	11,803

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	11,083	11,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	482	△1,059
為替換算調整勘定	22	△179
退職給付に係る調整額	78	49
その他の包括利益合計	583	△1,190
包括利益	11,666	10,638
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	11,805	10,676
非支配株主に係る包括利益	△139	△38

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,553	23,948	58,374	△448	97,428
当期変動額					
剰余金の配当			△3,238		△3,238
親会社株主に帰属する 当期純利益			11,236		11,236
自己株式の取得				△12,999	△12,999
連結子会社の増資による 持分の増減		△27			△27
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△27	7,997	△12,999	△5,029
当期末残高	15,553	23,921	66,372	△13,447	92,399

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,596	△92	△52	2,451	2,474	102,354
当期変動額						
剰余金の配当						△3,238
親会社株主に帰属する 当期純利益						11,236
自己株式の取得						△12,999
連結子会社の増資による 持分の増減						△27
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	482	8	78	569	△160	409
当期変動額合計	482	8	78	569	△160	△4,620
当期末残高	3,079	△84	26	3,021	2,314	97,734

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	15,553	23,921	66,372	△13,447	92,399
当期変動額					
剰余金の配当			△3,334		△3,334
親会社株主に帰属する 当期純利益			11,803		11,803
自己株式の取得				△1,000	△1,000
連結子会社の増資による 持分の増減		△26			△26
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△26	8,469	△1,000	7,442
当期末残高	15,553	23,895	74,841	△14,447	99,841

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,079	△84	26	3,021	2,314	97,734
当期変動額						
剰余金の配当						△3,334
親会社株主に帰属する 当期純利益						11,803
自己株式の取得						△1,000
連結子会社の増資による 持分の増減						△26
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,059	△68	49	△1,078	582	△495
当期変動額合計	△1,059	△68	49	△1,078	582	6,946
当期末残高	2,019	△152	75	1,942	2,897	104,681

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	18,490	19,870
減価償却費	2,842	3,135
減損損失	44	152
のれん償却額	1,661	1,718
負ののれん償却額	△232	△116
持分法による投資損益 (△は益)	△67	△38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	63	153
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	96	△558
リース投資資産の増減額 (△は増加)	72	300
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	182	73
有形固定資産売却損益 (△は益)	△60	△189
有形固定資産除却損	18	10
無形固定資産除却損	0	3
投資有価証券評価損益 (△は益)	34	78
受取利息及び受取配当金	△513	△680
支払利息	258	268
売上債権の増減額 (△は増加)	1,329	2,768
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,196	18
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,367	3,092
その他	△626	1,246
小計	18,034	31,309
利息及び配当金の受取額	503	674
利息の支払額	△257	△268
法人税等の支払額	△7,745	△7,705
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,534	24,010



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△238	△219
定期預金の払戻による収入	186	172
有形固定資産の取得による支出	△2,767	△3,544
有形固定資産の売却による収入	1,618	479
無形固定資産の取得による支出	△252	△268
短期貸付けによる支出	△584	△620
短期貸付金の回収による収入	226	240
長期貸付けによる支出	△1	△11
長期貸付金の回収による収入	310	1,763
投資有価証券の取得による支出	△6,097	△1,375
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△78	△1,003
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	117
その他	1	6
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△7,678</b>	<b>△4,264</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,940	△495
長期借入れによる収入	8,000	1,871
長期借入金の返済による支出	△4,771	△5,871
新株予約権付社債の発行による収入	25,087	—
自己株式の取得による支出	△12,999	△1,000
配当金の支払額	△3,238	△3,334
非支配株主への配当金の支払額	△48	△90
非支配株主からの払込みによる収入	—	731
リース債務の返済による支出	△252	△227
その他	△7	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,828</b>	<b>△8,416</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	△13
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	12,706	11,316
現金及び現金同等物の期首残高	58,787	71,494
現金及び現金同等物の期末残高	71,494	82,810

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「流動資産」の「その他」に含めていた「有価証券」は、重要性が増したため、当連結会計年度の連結貸借対照表において独立掲記しております。

(セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

#### 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、サービス別の事業部及び子会社ごとの事業内容に応じて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業別のセグメントから構成されており、「トータルパックプロデュース事業」、「メディカルサプライ事業」、「ライフケア事業」及び「調剤薬局事業」の4つを報告セグメントとしております。

「トータルパックプロデュース事業」は、医療機器及び医療設備等の一括受注販売、医療・保健・福祉・介護施設等に関するコンサルティング、医療機関等に対する不動産賃貸等を行っております。「メディカルサプライ事業」は、医療用診療材料及び特定保険医療材料等の販売等を行っております。「ライフケア事業」は、老人ホーム・グループホーム等の運営、食事提供サービス業務等を行っております。「調剤薬局事業」は、調剤薬局の運営等を行っております。

#### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
 前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	トータル バックプロ デュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	99,441	290,363	23,500	25,585	438,890	5,157	444,048	—	444,048
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,100	1,274	205	1,803	5,383	258	5,641	△5,641	—
計	101,542	291,637	23,705	27,388	444,274	5,415	449,690	△5,641	444,048
セグメント利益	9,794	4,191	1,625	2,193	17,804	421	18,226	△273	17,952
セグメント資産	101,706	112,541	24,932	15,350	254,531	2,681	257,212	41,999	299,212
その他の項目									
減価償却費	1,306	446	657	239	2,650	56	2,706	136	2,842
のれんの償却額	70	616	403	511	1,602	59	1,661	—	1,661
負ののれんの 償却額	232	—	0	—	232	—	232	—	232
減損損失	—	—	—	—	—	44	44	—	44
持分法適用会社 への投資額	303	—	—	—	303	—	303	—	303
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	1,575	1,342	298	297	3,514	31	3,546	15	3,561

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△273百万円には、セグメント間取引消去△84百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△192百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額41,999百万円には、セグメント間取引消去△9,094百万円、負ののれんの相殺額△116百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産51,169百万円等が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額15百万円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	トータル バックプロ デュース 事業	メディカル サブライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1)外部顧客に対する 売上高	100,688	325,664	23,929	27,050	477,332	7,062	484,395	—	484,395
(2)セグメント間の 内部売上高 又は振替高	2,662	1,101	210	8,403	12,378	328	12,707	△12,707	—
計	103,350	326,766	24,139	35,454	489,711	7,390	497,102	△12,707	484,395
セグメント利益	9,620	5,035	1,770	2,661	19,087	449	19,537	△742	18,794
セグメント資産	97,121	128,558	24,272	20,558	270,511	3,940	274,452	34,420	308,873
その他の項目									
減価償却費	1,584	473	641	268	2,968	57	3,025	110	3,135
のれんの償却額	106	626	401	517	1,653	65	1,718	—	1,718
負ののれんの 償却額	116	—	—	—	116	—	116	—	116
減損損失	—	152	—	—	152	—	152	—	152
持分法適用会社 への投資額	339	—	—	—	339	—	339	—	339
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	3,008	1,217	313	342	4,882	45	4,928	236	5,165

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△742百万円には、セグメント間取引消去△85百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△659百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額34,420百万円には、セグメント間取引消去△13,152百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産47,690百万円等が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産等であります。

(3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額236百万円は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	トータル バックプロ デュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計			
(のれん)								
当期末残高	565	3,233	3,030	2,158	8,987	432	—	9,420
(負ののれん)								
当期末残高	116	—	—	—	116	—	—	116

(注) 1 のれんの償却額及び負ののれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 2010年3月31日以前に行われた企業結合等により発生した負ののれんがあり、連結貸借対照表上は相殺して表示しております。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他	全社・消去	合計
	トータル バックプロ デュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計			
(のれん)								
当期末残高	933	2,686	2,628	1,821	8,069	478	—	8,548
(負ののれん)								
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1 のれんの償却額及び負ののれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

重要な負ののれん発生益はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

重要な負ののれん発生益はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,003円36銭	2,146円71銭
1株当たり当期純利益	227円75銭	248円03銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	221円11銭	225円24銭

(注) 1 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	11,236	11,803
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	11,236	11,803
普通株式の期中平均株式数(株)	49,335,752	47,587,591
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	221.11	225.24
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(百万円)	△5	△16
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△5)	(△17)
普通株式増加数(株)	1,456,876	4,741,064
(うち新株予約権付社債(株))	(1,456,876)	(4,741,064)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	97,734	104,681
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	2,314	2,897
(うち非支配株主持分(百万円))	(2,314)	(2,897)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	95,420	101,784
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	47,630,165	47,414,073



## (重要な後発事象)

(子会社株式の取得)

当社グループは、ミャンマー連邦共和国（以下、「ミャンマー」）において、2014年より透析・CTサービスを展開してまいりましたが、これまで培った経験やノウハウを活かし、さらに事業拡大を行うため、2020年4月27日にミャンマーの医療機器販売最大手であるOkkar Thiri Co.,Ltd.、及び同三番手であるSnow Everest Co.,Ltd.の株式を取得し連結子会社化いたしました。

## (1) 企業結合の概要

## ① 被取得企業の名称、その事業の内容及び結合後企業の名称

被取得企業の名称	Okkar Thiri Co.,Ltd.	Snow Everest Co.,Ltd.
事業の内容	医療機器・設備の販売	医療機器・設備の販売
結合後企業の名称	Okkar Thiri Co.,Ltd.	Snow Everest Co.,Ltd.

## ② 企業結合を行った主な理由

同社はミャンマーにおける医療機器卸売業の分野において、欧米並びに日本の大手メーカーの代理店として同国内の主要医療機関へファシリティコンサルティング、医療機器販売、及びそのメンテナンスを幅広く手掛けており、当社グループの得意とするトータルバックプロデュース事業を独自で展開しております。

当社グループにおきましては、ミャンマーにおけるさらなる事業拡大を図ることを目的として株式を取得いたしました。

## ③ 企業結合日

2020年4月27日

## ④ 企業結合の法的形式

株式取得

## ⑤ 取得した議決権比率

	Okkar Thiri Co.,Ltd.	Snow Everest Co.,Ltd.
株式取得前に所有していた議決権比率	14.9%	14.0%
株式取得により追加取得した議決権比率	65.1%	66.0%
取得後の議決権比率	80.0%	80.0%

## ⑥ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社グループが現金を対価として株式を取得したため。

## (2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

	Okkar Thiri Co.,Ltd.	Snow Everest Co.,Ltd.
企業結合日直前に保有していた持分の 企業結合日における時価	822百万円	242百万円
企業結合日に追加取得した普通株式の対価	現金 3,592百万円	現金 1,142百万円
取得原価	4,414百万円	1,384百万円

## (3) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

	Okkar Thiri Co.,Ltd.	Snow Everest Co.,Ltd.
段階取得に係る差損	71百万円	21百万円

## (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

算定中であります。

## (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

算定中であります。

## (自己株式の取得)

当社は、2020年5月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

## (1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため。

## (2) 取得の内容

- |              |   |
|--------------|---|
| ① 取得対象株式の種類  | 当社普通株式                                    |
| ② 取得する株式の総数  | 48万株（上限）<br>（発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：1.0%） |
| ③ 株式の取得価額の総額 | 20億円（上限）                                  |
| ④ 取得期間       | 2020年5月13日～2021年3月31日                     |
| ⑤ 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付                           |